

1. 施設概要

施設名	高知市春野デコの里	施設所管課	高齢者支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人 春野町高齢者福祉をすすめる会		
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日	公募・指名の別	指名
設置目的	市民の健康の保持及び向上並びに福祉の増進を図る。		
業務内容	1. デコの里の維持管理に関する業務 2. 市民の健康の保持及び向上のために必要な事業に関する業務 3. 高齢者の介護予防その他福祉の増進のために必要な事業に関する業務 4. その他、設置目的を達成するために市長が必要と認める業務に関する業務		
施設内容	所在地：高知市春野町西畑2680番地 施設概要 構造：木造平屋建て 敷地面積：788.32㎡ 延床面積：168.93㎡		
職員体制	常勤： 1人	非常勤： 6人	その他： 0人 合計： 7人

2. 利用状況

	H26年度(1年目)	H27年度(2年目)	H28年度(3年目)
利用者数	6,548人	6,327人	
開館日数	304日	307日	
利用率	100%	100%	%
事業開催数※1	304	307日	

※ [利用率算出方法の説明] 事業開催数を開館日数で除したもの。 ※1 事業の中で複数のメニューを組む。

3. 収支状況

単位：千円

	H26年度(1年目)	H27年度(2年目)	H28年度(3年目)
収入	指定管理料	8,138	8,138
	利用料金収入	5,239	5,061
	事業収入	0	0
	その他	93	1
	収入計	13,470	13,200
支出	管理運営費	6,303	6,013
	人件費	7,080	6,892
	その他	102	125
	支出計	13,485	13,030

4. 運営状況指標

	H26年度(1年目)	H27年度(2年目)	H28年度(3年目)
①事業収支(収入-支出)	△15千円	170千円	千円
②利用料金比率	—	—	—
③人件費比率	52.5%	52.8%	%
④外部委託費比率	1%	2%	%
⑤利用者1人あたり経費	2,059円	2,059円	円

5. その他特記事項

旧高知市内からの送迎希望があったものの、現在の職員体制と送迎車の台数ではエリア拡大をすることが困難、通所時間が片道1時間かかり通所者の身体的負担が大きいことから、断っています。今後の動向によっては再考していく必要があります。

デコの里は、介護予防拠点施設として、専門機関から一定の評価を受けるようになってきましたが、デコの里利用者が介護保険事業所を併用利用する際、デコの里での生活状況がケアプランに反映されないことが多く、利用者が減少するケースがあります。今後、居宅介護事業所や同所属のケアマネージャーと連携が必要となってきています。

6. 評価結果

(1) 総合評価(審査委員会評価)

年度	総合評価	コメント(評価のポイント, 課題及び改善点)
26	S	適切な管理運営がなされていると考えます。今後も、利用者に関心を持っていただける各種教室等の充実を図り、利用者満足度の向上につながる取組をお願いします。
27	S	適正な管理運営がなされていると考えます。引き続き、潜在的な利用者の掘り起こし、利用者のニーズに沿った各種教室等の開催など、利用者満足度の向上につながる取組を期待します。
28		

(2) 1次評価(施設所管課評価)

年度	1次評価	コメント(評価のポイント, 課題及び改善点)
26	S	幅広い年齢層の利用者増加・交流に向け、各種教室等の取組も増やしていただきたい。また教室等の成果品の展示等により、利用者に関心を持っていただく取組は今後も続けていただきたい。指定管理者施設だけでなく公的施設全般の共通課題として男性利用者比率の向上が今後の課題。
27	S	イベントにおけるパンフレットの配布や教室等の成果品の展示等により、潜在的な利用者の掘り起こしをし、利用者の増加・交流を促進する取組を今後も続けていただきたい。男性の利用者の増加の取組を今後も推進していただきたい。
28		

(3) 自己評価(指定管理者自己評価)

年度	自己評価	コメント(評価のポイント, 課題及び改善点)
26	S	平成26年度新たにカラオケ教室と水彩画教室を開講し、歌や絵の好きな利用者から喜ばれております。文化祭に変わる行事として位置付け取り組んできた各種教室の展示会を郵便局、銀行、公益施設のギャラリーを無償でお借りして開催してきました。出展した絵手紙教室、クロスステッチ教室、押絵教室、竹の節で若カエル教室の受講生もさることながら、展示作品を観覧した一般市民の反響も予想を超え、デコの里の宣伝に大いに役立ちました。ただ、絵手紙やクロスステッチ教室の9割以上が60歳代前半と若く、その教室のみの利用で他の教室や行事に関心が向かないことで延利用人員の増加には結びつかず、その点は今後の課題と言えます。
27	S	平成27年度は、毎年開催している春野町文化祭期間中に1,000部のパンフレットを配布したところ、大きな反響があり、パソコン教室をはじめ各教室の新規受講生が増加しました。さらに同文化祭に初めて各種教室の作品60点あまりを出展しました。各種教室の講師の高齢化により、存続が危ぶまれていた教室については、受講生から講師や世話人が誕生し、新たに愛好会として再スタートする等新しいスタイルの生きがい活動を開始しました。これまで利用者の9割以上が女性の利用者でしたが、囲碁好きな若手男性が囲碁愛好会を結成し活動を始めたところ、口コミで広がり、少しずつ仲間の輪が広がりました。28年1月よりドック・セラピー事業に準じた事業を実施し始めたところ、利用者間で好評を得ております。今後も、ニーズの変化に合わせて新たな事業に取り組んでまいります。
28		

平成 27 年度 指定管理者業務評価

5

7. 評価シート（自己評価・1次評価）

(1) 履行の確認

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業、業務の履行状況				
施設の設置目的、基本方針等		施設の設置目的及び基本方針の達成に向けた取組がなされているか。	3	3
供用時間の実績		開館時間、休館日等は、仕様どおり遵守されているか。	3	3
苦情・要望への対応		苦情・要望処理の処理は適切か。	3	3
職員配置		基準に基づき、適切な人員配置がされたか。	3	3
職員研修		従業者に対し、施設の管理運営に必要な研修は実施されたか。	3	3
事業計画書		指定管理業務が事業計画書に沿っているか。	3	3
事業実施状況		事業の実施は仕様書等に適合しているか。	3	3
法令の遵守		関連法令に基づいた管理運営がなされているか。	3	3
利用者の安全の確保		利用者の安全対策、監視体制等についてマニュアルを作成し、万が一に備えて従業員を指導し、訓練を行ったか。	3	3
緊急時の対応		緊急時のマニュアルが整備され、従業者訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	3	3
個人情報		個人情報の取扱い、従事者への研修、漏洩した場合の対策がとられているか。	3	3
情報公開		保有する文書が分類・整理され、閲覧等の請求があった場合に応じているか。	3	3
書類の整備		業務に必要な経理及び受付等の書類が整備されているか。	3	3
利用者への支援		利用者への支援は事業計画に基づき、適正・公平に実施されているか。	3	3
②施設の維持管理				
施設・設備の維持管理		施設・設備の維持管理基準が守られ、不具合が生じた場合は速やかに報告・対応しているか。	3	3
清掃業務の実施状況		清掃は確実に行われているか。	3	3
警備業務の実施状況		マスターキー等の管理、警備業務は適切に行われているか。	3	3
廃棄物処理業務の実施状況		廃棄物処理は適切に行われ、運搬・処理を委託する場合は許可業者と契約しているか。	3	3
外部委託の実施状況		過度な外部委託は行われていないか。	3	3
備品管理等の実施状況		備品の管理・点検・保守は適切に行われているか。	3	3
20項目×3点=60点			60	60
			/	/
			60	60

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず、早急な改善が必要である。

(2) サービスの品質

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①維持管理業務				
経費節減の取組		設備管理・修繕等が計画的に実施されているか。	4	3
備品等の管理		備品等の保守点検・補充は計画的に実施されているか。	4	3
衛生管理		衛生管理への対応は適切であるか。	4	3
②運営業務				
利用案内		パンフレット・施設内利用案内・行事開催案内等は判り易く、使い易いものになっているか。	4	4
職員の接客態度		各担当者の接客態度は良好か。	4	4

利用者満足度の把握	利用者等の要望・声を把握する方法を考えているか。	4	4
利用促進に向けた取組	利用者の増加や利便性を高めるための取組が行われているか。	4	4
各種事業の内容	各種事業（講座・イベント等）は施設の設置目的に合致した事業であり、利用者が満足できる内容であったか。	4	4
地域との連携、他施設との連携	地域との連携を考慮しているか。他類似施設との連携を考慮しているか。	4	4
福祉の向上	福祉の向上に対する取組がなされたか。	4	4
10項目×4点=40点		40	37
		/	/
		40	40

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められている。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず、早急な改善が必要であり、目標の全面的な見直しが必要である。

(3) サービスの安定性

中項目	小項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業収支の状況				
事業収支		事業収支が赤字の場合、黒字化のための改善策が実施されているか。	3	3
人件費比率		支出に占める人件費の割合が減らされすぎているか。	3	3
外部委託費比率		支出に占める外部委託費の割合が過度に偏っていないか。	3	3
3項目×3点=9点			9	9
			/	/
			9	9

評価基準（再掲）

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく、経営がなされている。
2	事業計画・収支計画等に基づく、経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく、経営が殆どなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。

(4) 評価

評価分類	配点	換算率	総評点	ウェイト	1次評価 評点	1次評価 換算後 総評点数	評価
(1) 履行の確認	60	×0.500	30	60%	60	30	S
(2) サービスの品質	40	×0.375	15	30%	37	13	
(3) サービスの安定性	9	×0.600	5	10%	9	5	
合計	109	-	50	100%	106	48	

(評価基準再掲)

総評点数	46点以上	41点以上	36点以上	35点以下
評価	S	A	B	C
評価基準	適正に管理運営が行われており、優れた実績をあげている。	適正に管理運営が行われている。	概ね適正であるが、一部改善を期待する。	改善が必要である。